



保育随想

★ 新しい年に向かって！

コロナ感染予防の諸々の対策で、幼児・児童の学習面も心身の成長も、コロナ禍以前と比較して遅れを心配する声が聞かれます。行動の規制、活動の規制は学ぶ機会を失うことでもありますので辛い3年間でした。只今は、第8波を迎え、感染に備える生活が続いております。去年、耳にしたのですが、このコロナ禍は令和5年の秋までは続くでしょう！と聞かされていたのですが、懸命な感染防止と対策を講じて居られる方々の努力も、効果も見えないままに現実のものとなる様相も呈しております。それでも、私たちは、保護者の皆様のご理解の中で、一つひとつの行事を経験して二学期の終業式を迎えることが出来ました。その間にも、陽性判定や発熱の知らせが入る度に、共に生活する子ども達や先生方の生活から、濃厚接触者の範囲を考え、園医や市役所、保健所の指示を仰いで、登園を自粛して頂いたりクラスの休園の措置もさせて頂きました。感染した方の普段と違う、いろいろな症状を聞くにつけても、苦しく生活に支障をきたしております。毎年はやるインフルエンザとは異なり、100年単位の感染症とも言われます。また、身の回りを見てもいろいろな初めての出来事も思い掛けない出来事にも遭遇されたことと思います。清水寺の官長さんが書かれる、今年の一文字は‘戦’でしたね！この時期に過ぎ去った一年を振り返り、私の一文字をひねり出してみませんか？大変だったこと、辛かったこと、そして、幸せだったこと、嬉しかったこと、お花を買いに行けましたか？家族と触れ合えましたか？健康に過ごせましたか？友達と会えましたか？頑張れましたか？幸せについて、不平や不満がなく、満ち足りている様子を指します。健康状態やお金、結婚しているかどうかに関係なく、毎日楽しく過ごしていれば幸福な状態と言えるでしょう！と定義付けている話があります。また、最も幸福な人のパターンとして、

- * 多くに時間を家族や友達と過ごし、その人間関係を大切に楽しんでいる。
- * 誰に対しても感謝を表すことが苦にならない。
- * 同僚や通りすがりの人にも、まっさきに手を差し伸べることが多い。
- * 未来を考えると、楽観的である。
- * 毎週、毎日のように体を動かす習慣が出来ている。
- * 人生の喜びを満喫し、「今」に生きようとしている。
- * 生涯にわたる夢や目標に全力を傾けている。
- * 困難に直面したときに対処する態度や強さを持っている。

始めたばかりで新しい行動や習慣がまだ自然なものに感じられない時には、最も力を注がなければなりません。とも言っております。そして、もっと幸福になりたいなら、スポーツをするように取り組まなければならない。例えば、筋トレのように、幸福になる力も鍛えて行くことが必要である。とあります。人生は山あり谷あり、来年は笑っていきましょう！